

「次世代につなぐ山岳図書 ～本に見る学士山岳会と小谷コレクション～」報告

山の日展示プロジェクトチーム

信州大学附属図書館（以下、「当館」）では、2016（平成 28）年 7 月 22 日（金）から 8 月 31 日（水）まで「次世代につなぐ山岳図書～本に見る学士山岳会と小谷コレクション～」（以下、「当展」）を開催した。

1. 展示概要

「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 43 号）」が 2016 年 1 月 1 日に施行され、8 月 11 日が同年より国民の祝日「山の日」となった。山の日の公式な記念式典が、松本市内の会場や上高地で行われる事により、松本市内でも多くの「祝山の日」の機運が高まっていたこともあり、「山の日」制定を記念して、当館内に当展の企画運営を行うプロジェクトチームを同年 5 月に作った。プロジェクトチームのメンバーは、館内で公募した 6 名である。

過去に当館では、日本有数の山岳図書「小谷コレクション」を使った館内展示を常設的に実施していたので、「小谷コレクション」をメインとしない企画展を模索した。

これに先立つ 2015（平成 27）年 8 月から 10 月、信州大学山岳部 OB 組織である学士山岳会の会長藤松太一氏より、氏が保管している図書及び、会員からの図書約 3,000 冊が寄贈され、当館で所蔵していない図書を中心に約 1,850 冊を受入れ、貸出等の利用ができる状態になっていた。

そこでこの寄贈図書と学士山岳会の活動を周知し、また信州の山の美しさを学生等に知つてもらうことをメインとした展示を企画することにした。

当展の概要是以下のとおり。

- ・学士山岳会からの寄贈図書展示（貸出可能）
- ・2009 年信州大学創立 60 周年記念事業「学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山」のパネル展示
- ・長野県内の山の写真パネル展示
- ・小谷コレクションから何点か展示
- ・学士山岳会会長の藤松さんの講演
- ・重複等で寄贈受入をしなかった図書の無料頒布。
- ・アンケート調査の実施

2. 展示の構成と内容

展示は、中央図書館 1 階の展示スペース全体を使用し、4 つのコーナーから構成した。以下にその概要を紹介する。

2.1 学士山岳会からの寄贈図書

寄贈された図書約 1,850 点全点を書架やブックトラックに並べて展示した。この寄贈図書は貸出も可能とした。受入れする図書は、既に当館に所蔵している図書と重複していないもののみを対象としたが、「小谷コレクション」が全点禁帶出であることから、「小谷コレクション」との重複については、重複していても受入したものもある。



寄贈図書 1



寄贈図書 2

2.2 「学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山」の紹介展示

2009 年の信州大学創立 60 周年記念行事「学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山」の紹介展示を行った。この遠征登山参加メンバーの一人である信州大学大学院総合工学系研究科江川信（遠征当時は信州大学理学部生物学科 2 年）が当展のプロジェクトメンバーの 1 人であったことから、同じく遠征メンバーの大木信介氏よりデジタルカメラ画像の提供ならびに当展での利用許可を得た。

提供された何百枚もの写真の中からプロジェクトメンバーが展示する画像 37 点を選定し、レーザープリンター用上質紙に複写複合機で印刷した。印刷用紙の裏面にカットされたマグネットシートを貼り、壁面に貼りつけた。（画像の印刷は、他の写真も全て同じ） 展示できない写真は自動スライドにして、パソコン画面で見るようにした。

また、江川が遠征時に使用したピッケル・アイゼン・靴等の装備展示し、その用途がわかるよう使用写真や説明を付けた。



「学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山」写真パネル展示

2.3 長野県内の山のパネル展示

信州大学職員で、アマチュアの山岳写真愛好家の2名に写真の提供を受け、「信州の山々」のタイトルで、蝶ヶ岳からのパノラマ写真や、上高地、穂高岳、浅間山などのカラー写真を9点展示了。また、写真の下に机を設置し、図書館所蔵資料より、長野県内の山に関する図書を展示了。



信州の山々

2.4 「小谷コレクション」の展示

当館で所蔵している日本有数の山岳図書「小谷コレクション」の中から貴重書を展示した。今回は、コレクション所蔵資料の貴重書で、当館に貸出可能な日本語訳または新装版等を所蔵している図書を中心に選び、展示ケース内に小谷コレクションの図書を、その上に貸出可能な同一図書を置くという手法をとり、なるべく図書の内容を手に取ってみてもらうよう心がけた。当展で展示した資料は次のとおり。

- *Atlas of India and High Asia* (レプリカ) Results of a scientific mission to India and high Asia
1861-1866
- 「カラコルムの夜明け」コンウェイ著；吉沢一郎訳：あかね書房、1968
- *Climbing and exploration in the Karakoram-Himalayas* by William Martin Conway ; with three hundred illustrations by A.D. McCormick : T.F. Unwin 1894
- *Starlight and storm : the ascent of six great north faces of the Alps* Gaston Rébuffat 著：
Dent 1956
- *Etoiles et tempêtes : (Six faces Nord)* Gaston Rebiffat Grenoble : Arthaud 1954
- 星と嵐：6つの北壁登行 ガストン・レビュファ著；近藤等訳 白水社 1955年
- 『氷河と萬年雪の山』小島烏水著、梓書房 1932 (特刷本 50 部の第 47 號, 署名入り)
- 『山の憶ひ出』(愛憎版) 木暮理太郎著 龍星閣 1938-1939 (限定百部のうち 99 番、署名入り)
- 『山と書物』(愛蔵版) 小林義正著 築地書院 1958 年 (限定 11 部の 10 号, 署名入り)
- 『続 山と書物』(愛蔵版) 小林義正著 築地書院 1960 年 (限定 27 部の 1 号, 署名入り)
- 高山深谷 日本山岳會編 1910-1917



「小谷コレクション」より *Atlas of India and High Asia* (レプリカ)

2.5 講演会

信州大学学士山岳会会长の藤松太一氏による講演会を行った。学生にもぜひ聞いて欲しいとの思いより、前期末試験終了日の翌日を講演会開催日とした。講演会の概要は次のとおり。

演題／我が山旅　－信大山岳部からヒマラヤ遠征まで－

講演者／藤松太一　信州大学学士山岳会会长

日時／平成 28 年 8 月 5 日（金） 13：30～

会場／中央図書館 2 階セミナー室

入場料無料・申込不要

聴講者は 31 名、うち 8 名は学外からの参加者であった。



講演する学士山岳会会长藤松太一氏

2.6 重複図書の無料配布

学士山岳会から寄贈された図書のうち重複図書について講演会終了後に無料配布を実施した。1 階展示コーナー隣の閲覧机を利用して並べた。参加者が持ち帰る際に、図書館職員が用意した袋に確認しながら入れて渡すことで、図書館所蔵資料との間違いを防止した。

無料配布対象図書 1,005 冊のうち 152 冊が希望者に配布された。
また、残った図書は信州大学と連携協定を結んでいる市立松本図書館へ提供した。同館も独自に山岳図書を収集していて、今では入手ができない図書が入手できたことから大変喜ばれた。



配布の様子

2.7 アンケート調査

アンケートは、展示コーナーに無人で用紙・投入箱を用意したほか、講演当日にも参加者に配布した。集計結果は、巻末「アンケート調査結果」にまとめた。

3. プロジェクトチームから出された実施後の問題点・反省点・感想

3.1 学士山岳会からの寄贈図書

- ・寄贈された図書には、国内の大学図書館に所蔵が無い登山隊の報告集などの資料が多数あり、改めて資料の貴重さを実感した。登山以外に探検・紀行の図書も多くあり、そちらの方面でもかなりのコレクションとなった。
- ・寄贈図書の受入と装備は昨年から行っていた。当展は5月から企画し、寄贈図書を展示することに決めたので、それ以前に受入した図書の装備や配架場所等の変更が発生してしまった。寄贈受入時に、展示のことを考えて処理すべきであった。また展示後の配架は、あまりにも大量の図書が特定の図書分類（290や780）に集中したので、配架作業に苦労した。
- ・「小谷コレクション」所蔵分を受入れ対象としたので、利用者がコレクション利用手続き無しで利用できるようになり利便性が向上した。

3.2 学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山のパネル展示

- ・提供された写真のあまりの美しさ・雄大さに圧倒された。ただでさえ過酷な登山にそれだけの機材を持ち込み、写真記録を残した隊員のエネルギーに引きずられるように、当展が作られていったといつても過言ではない。遠征から既に7年が経過し、在学生の大半がこのような遠征が実施されたこと自体を知らない状況だったため、紹介する機会ができてよかったです。
- ・非常に多くの写真を提供してもらったので、テーマを変更すれば今後の展示にも使用できる。
- ・写真が山だけでなく、隊員の生活やキャンプ風景・動物などもあったので、登山隊を知るうえで大変役立った。
- ・地図があれば、よりどこの写真か理解できた。
- ・実際に参加した隊員がプロジェクトメンバーであったため、キャプション作成などの細かい作業が楽で正確を期すことができた。
- ・職場体験で来ていた中学生に、展示作業の補助をしてもらい助かった。中学生からも作業参加が楽しかったとの感想があった。

3.3 長野県内の山のパネル展示

- ・蝶ヶ岳からのパノラマ写真は素晴らしかった。松本市から眺めている蝶ヶ岳まで登れば、眼前にこのような景色が広がるのかと、松本在住の人間には何か訴えかけるものがあったと思

う。

- ・松本をはじめ信州にこんな素晴らしい山々があることを、学生に伝えられたのではないかと思う。
- ・山の写真はプロ顔負けの実力だった。今回の2名以外にも信州大学内にはアマチュア山岳写真愛好家がいると思われる所以、公募などをするのも良い。

3.4 「小谷コレクション」の展示

- ・展示する資料を選ぶ過程で、改めて小谷コレクションの内容の豊富さや貴重さを実感する機会となった。図書館員であっても、コレクションに触れる機会がほとんど無いので、当展は貴重な経験となった。
- ・展示ケース内の展示だけでなく、実際に手に触れることができる図書が好評であった。
- ・今回の寄贈図書に展示ケースのものと重複するものもあったので、それらに関しては「同じ図書が借りられます」等の案内文をいれると良かった。

3.5 講演会

- ・前期末試験終了翌日に日程を設定したにもかかわらず、学生の参加が少なかったことが残念である。直接の後輩である山岳部員は、当日上高地での作業が予定されていたため、参加できなかつたと聞いている。前期末試験終了後にとらわれずより前に実施するなど、柔軟に考えるべきであった。
- ・参加者への反響は良かった。
- ・登山に取り組む人の生き様は刺激的で、とても聴きごたえのある話だった。
- ・今回は一人の方の講演だったが、今後同様の企画があれば、現役学生も含めて何名かでパネルディスカッション形式で行っても面白いのではないか。
- ・講演者の藤松氏はボランティアで講演してくれたが、今後講師謝金の予算化など考える必要がある。

3.6 未登録図書の無料配布

- ・未登録図書を無償配布するという試みは、今回始めてであったが、多数の利用者が参加し好評だったように感じている。時間をかけて厳選した数冊をじっくり選ぶ利用者、多数の図書を選び抱えきれない様子の利用者などさまざまな利用者がいた。通常あまり大学図書館を利用しない層の一般市民の参加もあり、広報的な効果もあったと感じている。
- ・学外からの参加者は山に詳しい方が多いのか、貴重な図書から捌けていったのが印象的であった。

- ・山の魅力を図書館として発信するにあたり、有意義な試みであった。
- ・利用者に混じって図書を何冊か選んだ。自分にとっても有意義であった。

3.7 アンケート調査

- ・見学者数と比較して、アンケート回答数が非常に少なかった。気楽に感想を述べてもらうため、ポストイットの利用を考えたらどうか。

3.8 その他の感想

- ・ポスターの作成は、じっくり時間をかけて行った。メインテーマに沿った立派なものが出来上がった。
- ・初めての「山の日」制定に関わるタイムリーな展示で、報道機関にも取り上げられたことがよかったです。
- ・当展を今後も継続するのであれば、本学の特徴（地理的な環境・山岳会の存在・小谷コレクションや今回の寄贈図書）を十分に生かしたもののが良い。



展示ポスター

- ・「学士山岳会ネパールヒマラヤ遠征登山」や「信州の山々」のパネル写真の周辺には、それぞれの山に関する図書を展示し、写真を見て興味を持った見学者がより詳細な情報を得ることが出来るようにした。図書と関連付けることで図書館での展示らしさを出すことができたのではないかと考えている。

謝辞

当展の開催に当たり以下の方々の協力を得た。ここに紹介するとともに、感謝の意を表する。

信州大学学士山岳会

会長 藤松 太一 氏（図書寄贈・講演）
 会員 大木 信介 氏（写真提供・図書寄贈）
 会員 江川 信 氏（写真提供・登山用品提供）
 会員 駒井 浩 氏（図書寄贈）
 会員 山田 和彦 氏（図書寄贈）
 会員 小川 勝 氏（図書寄贈）
 会員 松尾 武久 氏（図書寄贈）
 会員 西郡 光昭 氏（図書寄贈）
 会員 二俣 勇司 氏（図書寄贈）

信州大学職員

若林 武 氏（写真提供）
 井上 光一 氏（写真提供）

信州大学附属図書館職員

荻原 千代 氏（ポスター作成・印刷）

プロジェクトチームメンバー

折井 匠（統括）
 小島 浩子
 上原 直行
 後藤 優子
 柴田 優子
 江川 信

参考文献

「2009年ネパール登山報告書：信州大学創立60周年記念事業」信州大学学士山岳会：60周年事業実行委員会, 2010.12

「山と共に人と共に：田辺治追悼集」田辺, 治、信州大学学士山岳会編集 信州大学学士山岳会, 2013.10

「信大NOW 60号」制作：信州大学広報室、発行：信州大学 2009.11

http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/summary/2009/shindaiNOW_vol60/index.html

「信大NOW 61号」制作：信州大学広報室、発行：信州大学 2010.1

http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/summary/2009/shindaiNOW_vol61/index.html

別紙 アンケート調査結果 アンケート内容

アンケートにご協力ください アンケートは、1階展示コーナーにて回収しています。

本日は「信州大学附属図書館特別展」をご覧いただき、ありがとうございました。信州大学附属図書館では、今後も様々な展示・イベントの開催を検討しています。参考にさせていただけないと存じますので、ご回答をよろしくお願ひいたします。

1. ご自身についてご記入ください

① お立場

- 信州大学の学生（学部・学年： ）
 信州大学の教職員
 信州大学に関係がある（ ）
 一般市民

② お住まい

- 松本市 長野県内（ ） 県外（ ）

③ 年代

- 20歳未満 20代 30代 40代 50代
 60代 70歳以上

2. 「信州大学附属図書館特別展」を何で知りましたか？

- 図書館に来て知った
 大学・図書館のサイト 新聞（新聞名 ）
 その他（ ）

3. 講演会はいかがでしたか？

- とても良かった まあまあ良かった
 あまり良くなかった まったく良くなかった
 *ご感想をどうぞ

4. 1階の展示はいかがでしたか？（展示を見たあと、ご記入ください）

- とても良かった まあまあ良かった
 あまり良くなかった まったく良くなかった
 *ご感想をどうぞ

5. 信州大学附属図書館で行う展示・イベント・講演会等のご希望や、その他のご意見がありましたらご記入ください。

ありがとうございました

集計結果

1.ご自身について

①お立場（人）

| | |
|------------|----|
| 信州大学の学生 | 3 |
| 信州大学の教職員 | 18 |
| 信州大学に関係がある | 4 |
| 一般市民 | 6 |

②お住まい（人）

| | |
|------|----|
| 松本市 | 19 |
| 長野県内 | 10 |
| 長野県外 | 2 |

③年代（人）

| | |
|-------|---|
| 20歳未満 | 1 |
| 20代 | 3 |
| 30代 | 2 |
| 40代 | 7 |
| 50代 | 8 |
| 60代 | 6 |
| 70歳以上 | 4 |

2.「信州大学附属図書館特別展」を何で知りましたか？（人）

| | |
|------------|----|
| 図書館に来て知った | 6 |
| 大学・図書館のサイト | 11 |
| 新聞 | 3 |
| その他 | 11 |
| 未記入 | 1 |

3.講演会はいかがでしたか？（当日だけの質問）（人）

| | |
|------------|----|
| とても良かった | 19 |
| まあまあ良かった | 3 |
| あまり良くなかった | 0 |
| まったく良くなかった | 0 |
| 未記入 | 1 |

自由回答

講演会はいかがでしたか？

- ・学生がもっといても良かったと思う。
- ・実際の山岳体験を聞く事のできる貴重な経験でした。私自身山への憧れがあり、今回のお話を聞いて、それが増々強くなったように感じました。
- ・自分は全く知らない世界のお話でとても興味深かったです。とても美しくきれいな写真も見させていただきましたが、やはり登った人しか見えない景色がたくさんあるんだろうなあと想像しました。でもいつも”命”と向き合っている行動なのですね。楽しくも身が引き締まりました。
- ・実際に何度も登山をし、様々な場面を切り抜け、楽しんできた方の体験談を聞くことができて良かった。
- ・興味深い内容でとても良かった。
- ・山らしいお話をしました。
- ・実体験に基づくお話を引き込まれました。
- ・山のことのみならず、学生の頃のお話も伺えて有意義でした。
- ・昔の登山の大変さと相反する自由さをおききしてとても楽しかったです。

1階の展示はいかがでしたか？

- ・登山用具の展示はGood！新旧もあればもっと良かったかも！
- ・とても見応えがありました。写真がたくさんあり、登山生活（？）がどんなものか少し垣間見られた気がします。実際の登山道具もあり、実感がわきました。
- ・山は日常の風景で見る程度で、あまり縁のない生活をしてきたが、様々な山の表情をうつした写真は魅力的だった。
- ・写真がとても美しく息づかいがきこえてくるようだった。

信州大学附属図書館で行う展示・イベント・講演会等のご希望や、その他のご意見がありましたらご記入ください。

- ・展示、及び講演会、これらを体験できる機会を与えていただきありがとうございました。アルプスの山々にかんするイベントの開催を希望します。
- ・信大OBの方のユニークなとりくみを紹介してほしい。山の日（祝日）にちなんだ展示（登山というよりも「山」全般について）